

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>

第10期末 (2020年9月25日)	
基準価額	10,290円
純資産総額	236億円
第9期～第10期 (2020年3月26日～2020年9月25日)	
騰落率	5.7%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第5期末 (2020年9月25日)	
基準価額	10,519円
純資産総額	340億円
騰落率	5.7%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

 **ニッセイアセットマネジメント株式会社**
東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)
(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2020年3月26日～2020年9月25日

<3ヵ月決算型>

第9期 (決算日 2020年6月25日)

第10期 (決算日 2020年9月25日)

<資産成長型>

第5期 (決算日 2020年9月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2020年9月25日に決算を行いました。

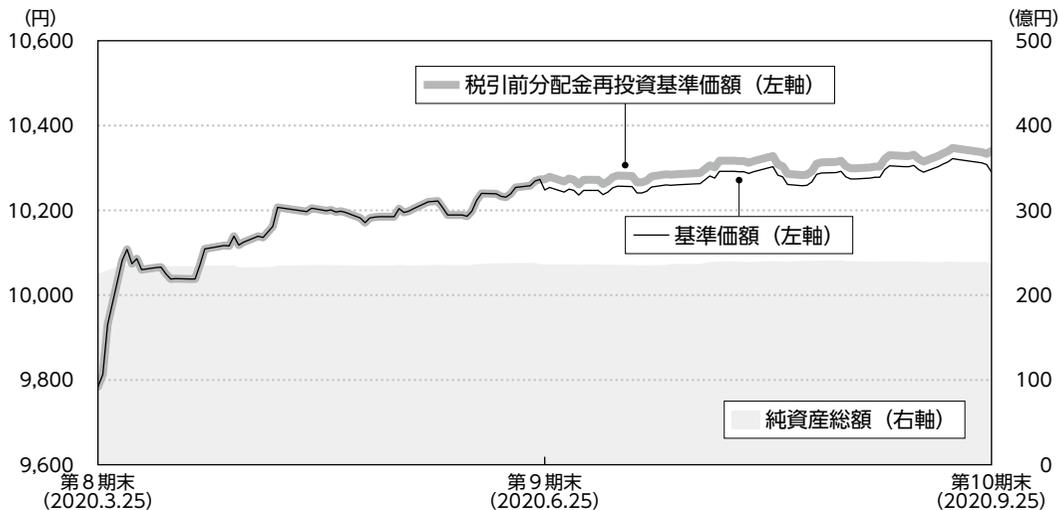
各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2020年3月26日～2020年9月25日

基準価額等の推移



第9期首	9,784円	既払分配金	50円
第10期末	10,290円	騰落率（分配金再投資ベース）	5.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 当作成期を通じて欧州金利が低位で推移する中、金融市場の落ち着きや期限前償還が限定的であったことを背景にデンマーク・カバード債券については旺盛な投資家需要が見られ、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第9期～第10期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.460%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,216円です。
(投信会社)	(23)	(0.222)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.022	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.003)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	49	0.482	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

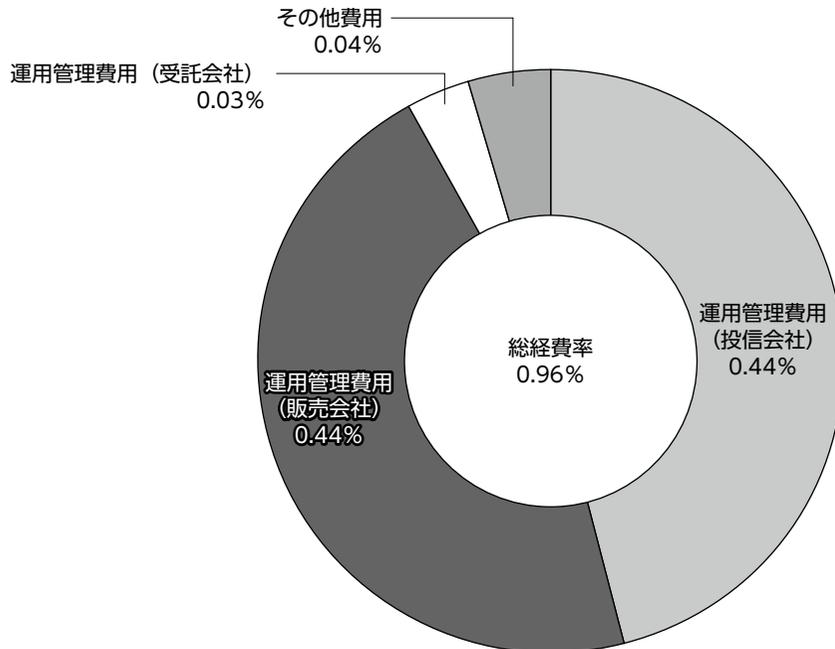
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



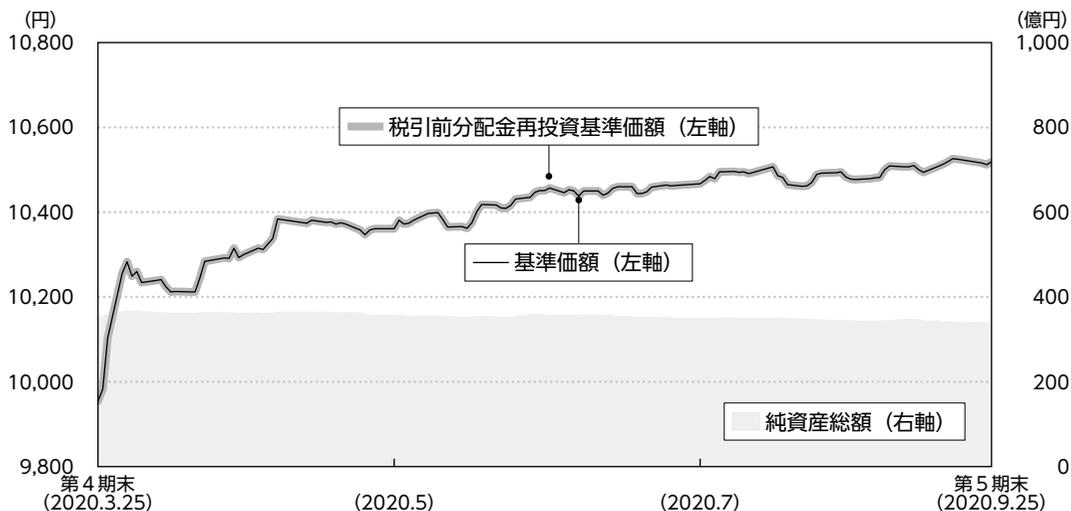
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第5期首	9,954円	既払分配金	0円
第5期末	10,519円	騰落率（分配金再投資ベース）	5.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

< 上昇要因 >

- ・ 期を通じて欧州金利が低位で推移する中、金融市場の落ち着いたきや期限前償還が限定的であったことを背景にデンマーク・カバード債券については旺盛な投資家需要が見られ、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	48円	0.460%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,406円です。
(投信会社)	(23)	(0.222)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.022	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.003)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	50	0.482	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

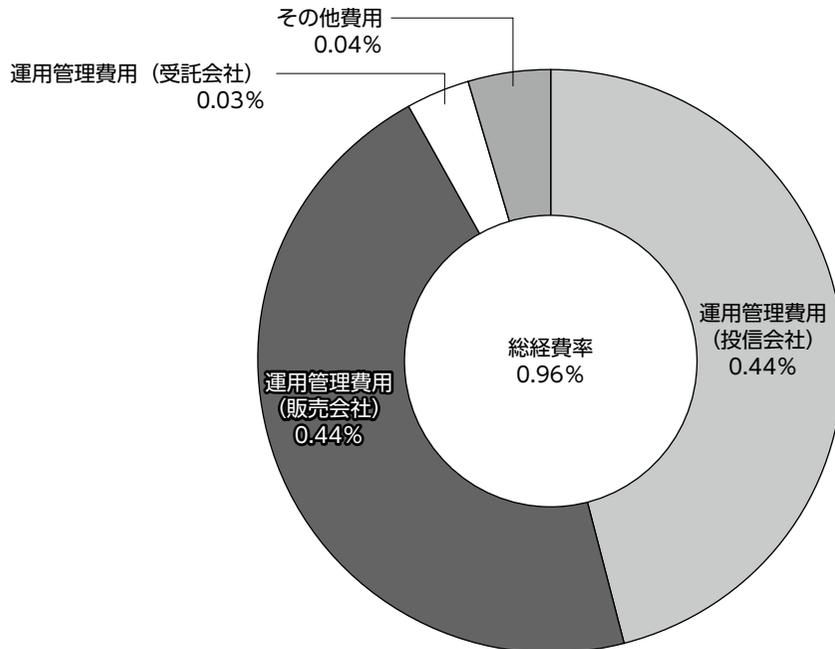
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

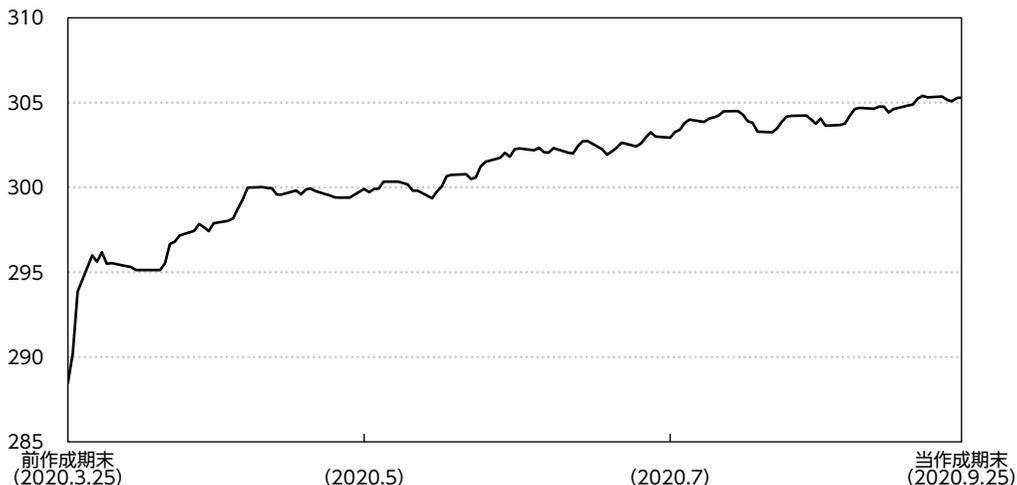
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期の欧州（ドイツ10年国債）金利は小動きとなり、当作成期を通じて見ると緩やかに低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期初から4月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い経済指標が軒並み悪化する中、欧州中央銀行（ECB）による追加金融支援策の導入などを背景に金利低下が進みました。5月から6月にかけては欧州連合（EU）復興基金の設立に向けた進捗が見られ、財政拡大の思惑もある中で金利は上昇しましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）において当面政策金利が据え置かれることが示唆されたことや米中間の対立が意識され、再び低下に転じました。7月から8月にかけてはワクチン開発に関するニュース等も交錯する中で上下に振れる場面もありましたが、おおむねレンジ相場となりました。9月に入ると、ユーロ圏内における新型コロナウイルスの新規感染者数の再拡大やイギリスとEUの貿易交渉、加えて米大統領選に向けた不透明感などを背景に株式市場が下落に転じ、当作成期末にかけて欧州金利は低下基調で推移しました。

デンマーク・カバード債券については欧州金利が低位で推移する中、当作成期を通じて堅調な値動きとなりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた金融市場の混乱はデンマーク・カバード債にも波及しましたが、その後の各国中央銀行による金融緩和や各国政府による財政支出が好感される中、金融市場が徐々に落ち着きを取り戻したことや期限前償還が限定的であったことなどを背景に旺盛な投資家需要が見られ、堅調な値動きとなりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でニクレディット・リアルクレディット（29.6%）、ノルディア・クレディット（29.7%）、ユスケ・リアルクレディット（29.2%）、リアルクレディット・デンマーク（11.5%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第9期	第10期
	2020年3月26日～2020年6月25日	2020年6月26日～2020年9月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.24%	0.24%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	390円	394円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2020年3月26日～2020年9月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	519円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州経済については、各国の財政拡張による景気下支えは一定程度期待されるものの、新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化し経済活動が正常化するまでには相応の時間を要すると見込みます。このような状況下、各国中央銀行は現行の金融緩和政策を当面継続することを示しています。欧州金利については、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や財政拡張の思惑が交錯する中、上下する可能性はありますが、当面は金融緩和的な政策スタンスが継続すると見込まれるため、安定的な動きに収束すると見えています。デンマーク国立銀行（中央銀行）は政策目標であるデンマーク・クローネの対ユーロでの安定を目的に3月に利上げを実施しましたが、その後はこうした政策が奏功し通貨安の動きを抑止できたことから、当面は欧州と同様に現行の政策金利が維持されると予想し、デンマーク10年国債金利についても欧州金利同様、おおむね安定的に推移すると見込みます。

今後の運用については、デンマーク・カバード債券の価格動向は期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第10期末 2020年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

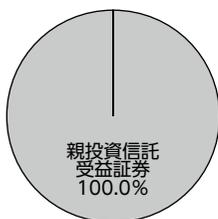
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

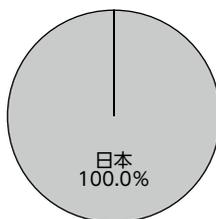
項目	第9期末 2020年6月25日	第10期末 2020年9月25日
純資産総額	23,604,774,664円	23,665,950,803円
受益権総口数	23,033,767,176口	22,999,423,985口
1万円当たり基準価額	10,248円	10,290円

(注) 当作成期間（第9期～第10期）中における追加設定元本額は1,978,805,577円、同解約元本額は2,011,034,371円です。

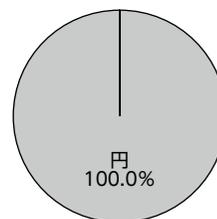
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第5期末 2020年9月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

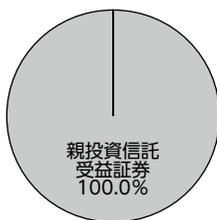
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

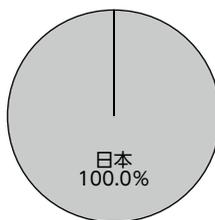
項目	第5期末 2020年9月25日
純資産総額	34,045,775,254円
受益権総口数	32,365,858,703口
1万口当たり基準価額	10,519円

(注) 当期間中における追加設定元本額は3,238,426,024円、同解約元本額は6,622,809,242円です。

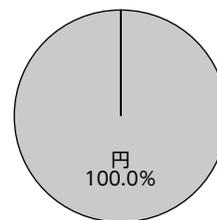
■ 資産別配分



■ 国別配分



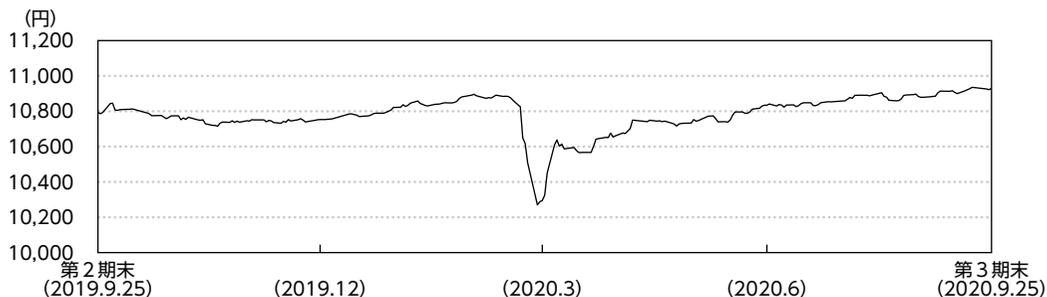
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年9月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

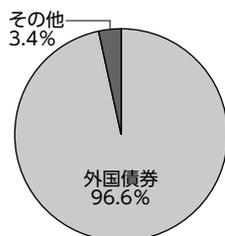
銘柄名	通貨	比率
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	17.7%
JYSKE REALKREDIT A/S 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	17.2
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	9.0
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	8.7
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	6.8
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	6.8
NYKREDIT REALKREDIT AS 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	5.9
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	5.6
NYKREDIT REALKREDIT AS 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	4.8
JYSKE REALKREDIT A/S 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	4.2
組入銘柄数		14

■ 1万口当たりの費用明細

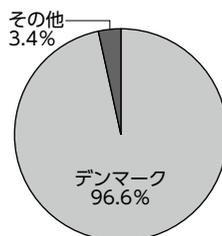
2019.9.26~2020.9.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	4円 (3)
(その他)	(1)
合計	4

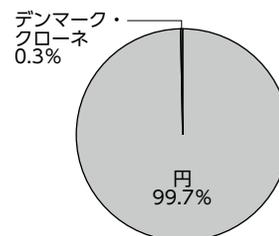
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2020年9月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2018年4月16日	10,000	-	-	10,000	-	1
1期(2018年6月25日)	10,034	0	0.3	10,034	96.8	2,115
2期(2018年9月25日)	10,049	25	0.4	10,074	100.8	3,357
3期(2018年12月25日)	10,073	25	0.5	10,123	94.9	5,989
4期(2019年3月25日)	10,368	25	3.2	10,443	95.9	10,046
5期(2019年6月25日)	10,419	25	0.7	10,519	97.8	13,178
6期(2019年9月25日)	10,357	25	△0.4	10,482	97.8	19,679
7期(2019年12月25日)	10,269	25	△0.6	10,419	98.5	24,434
8期(2020年3月25日)	9,784	25	△4.5	9,959	98.8	22,535
9期(2020年6月25日)	10,248	25	5.0	10,448	97.4	23,604
10期(2020年9月25日)	10,290	25	0.7	10,515	96.6	23,665

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		債券 組入比率
第9期	(期首)	円		%	%
	2020年3月25日	9,784		-	98.8
	3月末	10,108		3.3	89.8
	4月末	10,162		3.9	96.1
	5月末	10,204		4.3	100.3
	(期末)				
	2020年6月25日	10,273		5.0	97.4
第10期	(期首)				
	2020年6月25日	10,248		-	97.4
	6月末	10,250		0.0	91.6
	7月末	10,292		0.4	100.2
	8月末	10,276		0.3	99.0
	(期末)				
	2020年9月25日	10,315		0.7	96.6

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2020年3月26日～2020年9月25日

	第9期～第10期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	1,875,121	2,017,539	2,111,842	2,282,574

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2020年3月26日～2020年9月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2020年9月25日現在

種類	第8期末	第10期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	21,889,165	21,652,443	23,666,120

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は64,859,149千口です。

投資信託財産の構成

2020年9月25日現在

項目	第10期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	23,666,120	98.6
コール・ローン等、その他	333,669	1.4
投資信託財産総額	23,999,790	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ16.55円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（68,715,596千円）の投資信託財産総額（71,628,925千円）に対する比率は95.9%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年6月25日) (2020年9月25日)現在

項目	第9期末	第10期末
(A) 資産	23,894,477,256円	23,999,790,175円
コール・ローン等	50,772,736	50,361,379
ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンド(評価額)	23,604,990,116	23,666,120,797
未収入金	238,714,404	283,307,999
(B) 負債	289,702,592	333,839,372
未払収益分配金	57,584,417	57,498,559
未払解約金	177,756,796	221,165,369
未払信託報酬	54,037,194	54,846,645
その他未払費用	324,185	328,799
(C) 純資産総額(A - B)	23,604,774,664	23,665,950,803
元本	23,033,767,176	22,999,423,985
次期繰越損益金	571,007,488	666,526,818
(D) 受益権総口数	23,033,767,176口	22,999,423,985口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,248円	10,290円

(注) 当作成期首元本額 23,031,652,779円
 当作成期中追加設定元本額 1,978,805,577円
 当作成期中一部解約元本額 2,011,034,371円

損益の状況

(第9期 2020年3月26日～2020年6月25日)
 (第10期 2020年6月26日～2020年9月25日)

項目	第9期	第10期
(A) 配当等収益	△ 3,720円	△ 3,732円
受取利息	228	186
支払利息	△ 3,948	△ 3,918
(B) 有価証券売買損益	1,152,804,967	206,194,903
売買益	1,186,073,427	210,265,215
売買損	△ 33,268,460	△ 4,070,312
(C) 信託報酬等	△ 54,361,411	△ 55,175,503
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,098,439,836	151,015,668
(E) 前期繰越損益金	△ 1,079,393,717	△ 36,729,495
(分配準備積立金)	(184,070,693)	(198,419,795)
(繰越欠損金)	(△ 1,263,464,410)	(△ 235,149,290)
(F) 追加信託差損益金*	609,545,786	609,739,204
(配当等相当額)	(691,297,624)	(700,443,786)
(売買損益相当額)	(△ 81,751,838)	(△ 90,704,582)
(G) 合計(D + E + F)	628,591,905	724,025,377
(H) 収益分配金	△ 57,584,417	△ 57,498,559
次期繰越損益金(G + H)	571,007,488	666,526,818
追加信託差損益金	609,545,786	609,739,204
(配当等相当額)	(692,015,354)	(701,751,665)
(売買損益相当額)	(△ 82,469,568)	(△ 92,012,461)
分配準備積立金	208,191,300	204,568,422
繰越欠損金	△ 246,729,598	△ 147,780,808

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	81,705,024円	63,647,186円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	692,015,354円	701,751,665円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	184,070,693円	198,419,795円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	957,791,071円	963,818,646円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	415.82円	419.06円
(g) 分配金	57,584,417円	57,498,559円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2018年4月16日	10,000	-	-	10,000	-	1
1期(2018年9月25日)	10,074	0	0.7	10,074	100.8	1,764
2期(2019年3月25日)	10,445	0	3.7	10,445	95.9	7,829
3期(2019年9月25日)	10,484	0	0.4	10,484	97.8	27,263
4期(2020年3月25日)	9,954	0	△5.1	9,954	98.8	35,585
5期(2020年9月25日)	10,519	0	5.7	10,519	96.6	34,045

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債券 組入比率	
		騰落率	
(期首)2020年3月25日	円 9,954	% -	% 98.8
3月末	10,283	3.3	89.8
4月末	10,338	3.9	96.1
5月末	10,381	4.3	100.3
6月末	10,453	5.0	91.6
7月末	10,495	5.4	100.2
8月末	10,479	5.3	99.0
(期末)2020年9月25日	10,519	5.7	96.6

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2020年3月26日～2020年9月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	3,122,785	3,378,012	6,539,661	7,064,078

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2020年3月26日～2020年9月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2020年9月25日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	34,566,584	31,149,709	34,046,632

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は64,859,149千口です。

投資信託財産の構成

2020年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	34,046,632	98.3
コール・ローン等、その他	581,903	1.7
投資信託財産総額	34,628,535	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ16.55円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（68,715,596千円）の投資信託財産総額（71,628,925千円）に対する比率は95.9%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	34,628,535,549円
コール・ローン等	157,666,116
ニッセイ・デンマーク・カバード債券 マザーファンド(評価額)	34,046,632,138
未収入金	424,237,295
(B) 負債	582,760,295
未払解約金	418,235,618
未払信託報酬	163,606,125
その他未払費用	918,552
(C) 純資産総額(A-B)	34,045,775,254
元本	32,365,858,703
次期繰越損益金	1,679,916,551
(D) 受益権総口数	32,365,858,703口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,519円

(注) 期首元本額	35,750,241,921円
期中追加設定元本額	3,238,426,024円
期中一部解約元本額	6,622,809,242円

損益の状況

当期 (2020年3月26日～2020年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 21,019円
受取利息	2,771
支払利息	△ 23,790
(B) 有価証券売買損益	1,851,218,998
売買益	2,137,258,663
売買損	△ 286,039,665
(C) 信託報酬等	△ 164,525,173
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,686,672,806
(E) 前期繰越損益金	△ 1,398,378,949
(分配準備積立金)	(232,162,913)
(繰越欠損金)	(△ 1,630,541,862)
(F) 追加信託差損益金*	1,391,622,694
(配当等相当額)	(1,005,581,241)
(売買損益相当額)	(386,041,453)
(G) 合計(D+E+F)	1,679,916,551
次期繰越損益金(G)	1,679,916,551
追加信託差損益金	1,391,622,694
(配当等相当額)	(1,008,958,080)
(売買損益相当額)	(382,664,614)
分配準備積立金	455,245,480
繰越欠損金	△ 166,951,623

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	223,082,567円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,224,671,071円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	232,162,913円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	1,679,916,551円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	519.04円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間		2018年4月16日～2028年9月25日	
運 用 方 針		<p>①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド

運用報告書

第 3 期

(計算期間：2019年9月26日～2020年9月25日)

運用方針

- ①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

主要運用 対象

デンマーク・カバード債券等

運用方法

- 以下の様な投資制限のもと運用を行います。
- ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
 - ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

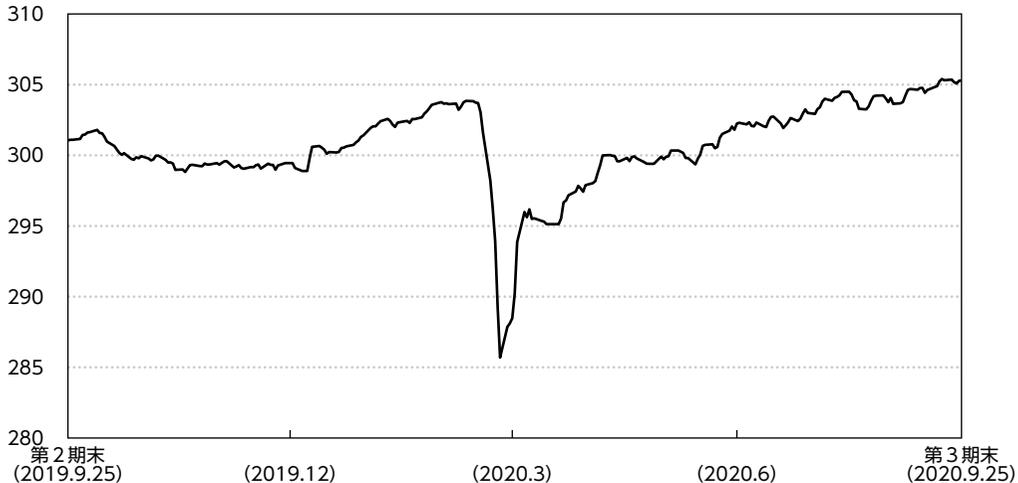
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2019年9月26日～2020年9月25日

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



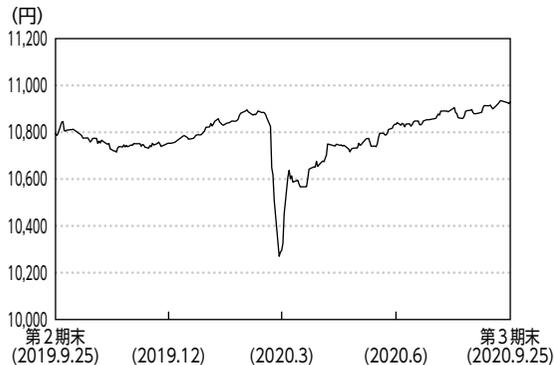
(注) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当期の欧州（ドイツ10年国債）金利は大きく上下しながらも期を通じて見ると上昇（債券価格は下落）しました。

2019年10月から12月にかけては、米中通商協議の進展やイギリスと欧州連合（EU）による離脱協定案の合意などを受けてリスクオン（安全資産からリスク商品に向かう動き）となる中、金利上昇基調で推移しました。2020年1月の米国によるイランへの空爆を受けて中東情勢が警戒された局面では早期に事態が収束したこともあり、市場への影響は限定的でしたが、その後、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い金利は低下に転じました。2月から3月にかけては、中国国外でウイルス感染拡大が急速に進んだことからパニック的な相場展開となり、株価が大きく下落する中で金利は一時的に低下したものの、換金売りから上昇に転じました。その後は、米国やドイツを筆頭に各国政府が経済対策を打ち出し、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が資産買入れ策を含めて矢継ぎ早に金融緩和政策を導入したことを受け、徐々に相場のボラティリティ（価格変動）は小さくなりました。4月以降は世界的に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、経済指標は軒並み落ち込みながらも、ワクチン開発に関するニュースや各国中央銀行による金融緩和政策の継続を背景に株式市場は上昇基調で推移し、米欧金利はおおむね低位で推移しました。9月以降はユーロ圏内における新型コロナウイルスの新規感染者数の再拡大やイギリスとEUの貿易交渉、加えて米大統領選に向けた不透明感などを背景に株式市場が下落に転じる中、債券市場は堅調な値動きとなりました。

デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）については、高水準の期限前償還が続いた中、昨年後半は横ばい圏での推移となりましたが、年明け以降は期限前償還が一服する中で縮小基調となりました。3月は新型コロナウイルスの感染拡大を受けた市場の混乱により、現金化の動きに加えデンマーク中央銀行による為替レートの維持を目的とした利上げが嫌気され、一時的に大幅に拡大しましたが、デンマーク・カバード債券の安全性の高さも相まって早期に縮小に転じました。4月以降は世界的に国債金利が低位で安定推移したことや期限前償還が落ち着いていたことを背景に、投資家需要も強まりおおむね堅調な値動きが継続しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2020年1月から2月にかけて、欧州金利の低下に伴い低クーポン債を中心に価格が上昇したこと
- ・ 4月以降、欧州金利が低位で推移する中、金融市場の落ち着きや期限前償還が限定的であったことを背景にデンマーク・カバード債券については旺盛な投資家需要が見られ、スプレッドが縮小基調で推移したこと

<下落要因>

- ・ 2020年3月中旬、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした市場の混乱から債券を売却して現金化する動きがあったこと

ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でニクレジット・リアルクレジット（29.6%）、ノルディア・クレジット（29.7%）、ユスケ・リアルクレジット（29.2%）、リアルクレジット・デンマーク（11.5%）としています。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

欧州経済については、各国の財政拡張による景気下支えは一定程度期待されるものの、新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化し経済活動が正常化するまでには相応の時間を要すると見込みます。このような状況下、各国中央銀行は現行の金融緩和政策を当面継続することを示しています。欧州金利については、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や財政拡張の思惑が交錯する中、上下する可能性はありますが、当面は金融緩和的な政策スタンスが継続すると見込まれるため、安定的な動きに収束すると見えています。デンマーク国立銀行（中央銀行）は政策目標であるデンマーク・クローネの対ユーロでの安定を目的に3月に利上げを実施しましたが、その後はこうした政策が奏功し通貨安の動きを抑止できたことから、当面は欧州と同様に現行の政策金利が維持されると予想し、デンマーク10年国債金利についても欧州金利同様、おおむね安定的に推移すると見込みます。

今後の運用については、デンマーク・カバード債券の価格動向は期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		債券組入比率	純資産総額
(設定日) 2017年10月12日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 100
1期 (2018年9月25日)	10,280	2.8	100.8		21,234
2期 (2019年9月25日)	10,794	5.0	97.8		60,833
3期 (2020年9月25日)	10,930	1.3	96.6		70,889

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
(期首) 2019年9月25日	円 10,794	% -	% 97.8	
9月末	10,843	0.5	97.9	
10月末	10,754	△0.4	100.2	
11月末	10,751	△0.4	99.2	
12月末	10,757	△0.3	100.3	
2020年1月末	10,846	0.5	97.6	
2月末	10,884	0.8	97.3	
3月末	10,637	△1.5	89.8	
4月末	10,702	△0.9	96.1	
5月末	10,754	△0.4	100.3	
6月末	10,838	0.4	91.6	
7月末	10,890	0.9	100.2	
8月末	10,882	0.8	99.0	
(期末) 2020年9月25日	10,930	1.3	96.6	

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2019年9月26日～2020年9月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	4円	0.038%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.030)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.008)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	4	0.038	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,782円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2019年9月26日～2020年9月25日

公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 5,726,085	千デンマーク・クローネ 3,405,382 (1,930,555)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2019年9月26日～2020年9月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NORDEA KREDIT REALKREDIT	18,947,738	NORDEA KREDIT REALKREDIT	10,553,522
JYSKE REALKREDIT A/S	17,087,611	NYKREDIT REALKREDIT AS	8,306,296
NYKREDIT REALKREDIT AS	11,458,145	NORDEA KREDIT REALKREDIT	7,016,389
REALKREDIT DANMARK	6,384,951	NYKREDIT REALKREDIT AS	6,462,332
NORDEA KREDIT REALKREDIT	5,809,993	JYSKE REALKREDIT A/S	5,110,850
NYKREDIT REALKREDIT AS	5,074,449	JYSKE REALKREDIT A/S	3,041,771
NORDEA KREDIT REALKREDIT	4,544,985	JYSKE REALKREDIT A/S	2,889,822
NYKREDIT REALKREDIT AS	4,539,807	REALKREDIT DANMARK	2,608,660
JYSKE REALKREDIT A/S	4,510,763	NORDEA KREDIT REALKREDIT	1,817,477
NYKREDIT REALKREDIT AS	4,250,185	JYSKE REALKREDIT A/S	1,747,760

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2020年9月25日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	4,081,706	4,137,495	68,475,546	96.6	—	96.6	—	—
合計	—	—	68,475,546	96.6	—	96.6	—	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千円	千円
デンマーク	%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
社債券					
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2050/10/01	738,969	738,223	12,217,600
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	174,881	178,695	2,957,411
JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	286,345	293,071	4,850,336
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.0000	2050/10/01	756,598	756,091	12,513,313
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5000	2050/10/01	46,169	47,230	781,668
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	131,422	135,703	2,245,898
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	281,557	290,061	4,800,510
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2047/10/01	144,986	150,133	2,484,702
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0000	2050/10/01	372,155	371,347	6,145,803
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.5000	2050/10/01	235,138	240,569	3,981,430
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2050/10/01	200,686	206,988	3,425,657
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2050/10/01	247,461	254,570	4,213,145
REALKREDIT DANMARK	1.0000	2050/10/01	88,063	87,863	1,454,141
REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	377,271	386,944	6,403,927
合計	—	—	—	—	68,475,546

投資信託財産の構成

2020年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 68,475,546	% 95.6
コール・ローン等、その他	3,153,378	4.4
投資信託財産総額	71,628,925	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ16.55円です。

(注2) 外貨建純資産(68,715,596千円)の投資信託財産総額(71,628,925千円)に対する比率は95.9%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	140,121,228,180円
コール・ローン等	1,635,362,918
公社債(評価額)	68,475,546,631
未収入金	69,777,248,948
未収利息	221,302,601
前払費用	11,767,082
(B) 負債	69,231,499,909
未払金	68,492,302,943
未払解約金	739,149,759
その他未払費用	47,207
(C) 純資産総額(A-B)	70,889,728,271
元本	64,859,149,161
次期繰越損益金	6,030,579,110
(D) 受益権総口数	64,859,149,161口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,930円

(注1) 期首元本額	56,359,767,981円
期中追加設定元本額	34,447,450,208円
期中一部解約元本額	25,948,069,028円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)	21,652,443,548円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型)	31,149,709,184円
きらぼし・デンマーク・インカムファンド (為替ヘッジ型)	4,893,217,294円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2018-09 (為替ヘッジあり)	2,890,334,348円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-07 (為替ヘッジあり・限定追加型)	1,604,319,687円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)	2,669,125,100円

損益の状況

当期 (2019年9月26日~2020年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	1,082,653,742円
受取利息	1,084,649,262
支払利息	△ 1,995,520
(B) 有価証券売買損益	△ 108,811,609
売買益	13,443,864,971
売買損	△ 13,552,676,580
(C) 信託報酬等	△ 28,189,848
(D) 当期損益金(A+B+C)	945,652,285
(E) 前期繰越損益金	4,473,357,263
(F) 追加信託差損益金	2,668,083,981
(G) 解約差損益金	△ 2,056,514,419
(H) 合計(D+E+F+G)	6,030,579,110
次期繰越損益金(H)	6,030,579,110

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。